

フローレンス・ナイチンゲール





実は同世代の二人！！

クリミア戦争（1853–56）

ナイチンゲールはイギリス人として、イギリス軍の兵士の命を守る側。

ノーベルは、ロシア帝国（敵国）の武器を支える側。

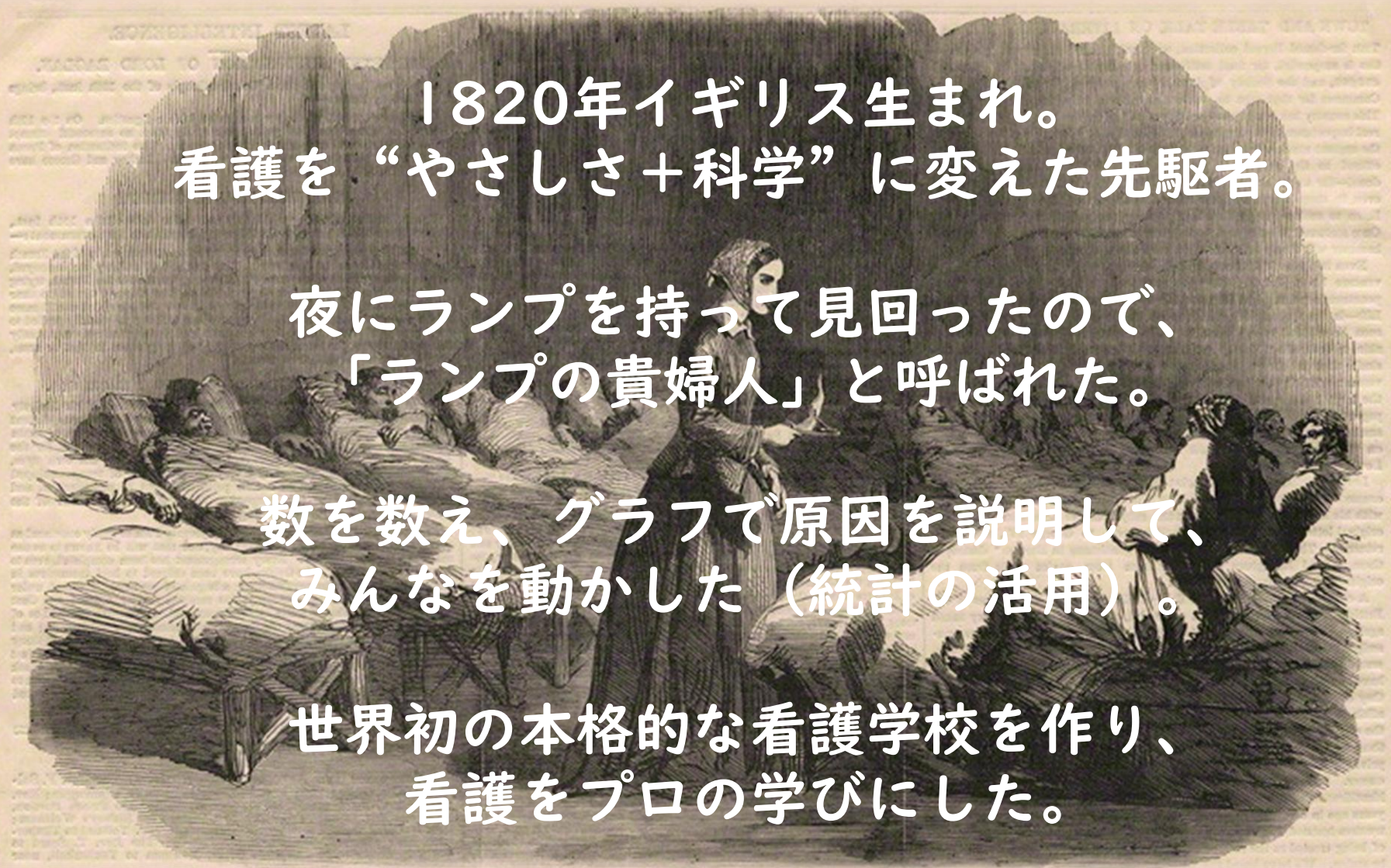
【簡単にまとめ】フローレンス・ナイチンゲールとは？

1820年イギリス生まれ。
看護を“やさしさ＋科学”に変えた先駆者。

夜にランプを持って見回ったので、
「ランプの貴婦人」と呼ばれた。

数を数え、グラフで原因を説明して、
みんなを動かした（統計の活用）。

世界初の本格的な看護学校を作り、
看護をプロの学びにした。



みんななら
どっちに行く？



これから
フローレンス・ナイチン
ゲールさんの人生を
振り返ります。

たくさんの
人生の分かれ道を
用意しました。

どっちに行った良かったの
か考えていきましょう。



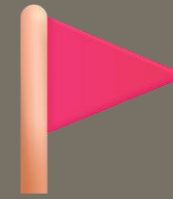
1820年：0歳
イギリスの上流階級（貴族）
として誕生



16歳のある日の夜、自分の部屋でいつものように日記を書いていました。

すると、フローレンスの耳に、どこからか声が聞こえてきました。





みんななら
どっちに行く？

気にしない

気にする





?? 「あなたにはなすべきことがあります。
あなたにしかできない、大切なことがある
はずです。」

Q みんながフローレンスの立場だったなら？💡🚩

- ① 不審者がいるので気持ち悪い
- ② 気にしない、自分は疲れているだけだ
- ③ 神様、そうに違いない



フローレンスは、
神のお告げであると信じて、
この日から‘大切なこと’を探し始めた。



1842年：22歳

イギリスに歴史的な大飢饉（だいききん）が起こった。
食べ物がなくなり、たくさんの
人が仕事を失った。

フローレンスは、上流階級の務め（つとめ）として、姉のパーシーとともに農村部へ慈善活動をしに行った。
そこでは、小さな男の子がしくしく泣いていた。その腕や足はやせ細っていた。



何日もほとんど食べていない。
食べ物が無い。
フローレンスは、何軒もの家に食べ物を
配っているうちに、ある疑問が湧いてきた。

「なぜ、自分たちの家にはありあまるほど
のものがあのに、一方ではこんなに飢え
て苦しんで人がいるのか？」





みんななら
どっちに行く？



疑問をそのま
ま放置して見
て見ぬふりを
する。



疑問をそのま
まにしないで
解決しようと
する。



「なぜ、自分たちの家にはありあまるほどのものがあるのに、一方ではこんなに飢えて苦しんで人がいるのか？」

Q みんながフローレンスの立場なら？

- ① 自分が貴族で良かったと思う。必要以上のことはしない。
- ② 神様に祈りを捧げて助けてもらう。
- ③ 村の看護をするために専門的な知識を勉強し始める。



フローレンスは、これが長い間、
「探していた何か」であり、それに
めぐり会えたとわかった。

はっきりとした目標を見い出して、
看護の専門的な知識を学び始める。



実際に病人の世話をするのが1番だと考え、家から近いソールズベリーの病院へ行こうとした。

しかし、両親の激しい反対にあいます。



ナイチン母「頭がおかしくなったの？」
泣き叫んだ。

ナイチン父「この恩知らずが！」
いつもは理解のある父までも苦しい表情をした。

そのときの時代背景を考えると、
貴族の親としては、普通かもしれない。



19世紀のイギリスでは、病院は薄暗く不潔なところ。
看護師は身分の低い人の、いやしい仕事だと考えられていた。



当時の看護師は、せいぜい患者の手伝いをする程度で、だらしない人が多く、患者の前でお酒を飲む人もいたくらいだった。





それでも諦めない。

フローレンスは家族の前では普通にふるまい、家族に知られないように、朝早くや深夜などを使って寝室で勉強をしていた。

そんな日を送るうちに、神経衰弱という、心の病気にかかってしまう。



家族とのわだかまりが解消されない中、ある日、同じ貴族である、リチャード・モンクトン・ミルンズが結婚を申し込んで来てくれた。

「フローレンスさん、ぼくと結婚してください。」





みんななら
どっちに行く？



貴族と結婚し
て、
看護師はあき
らめて
玉の輿に乗る。



縁談を破棄
して、
夢のために
自分に覇気
をまとう。



フローレンス
「私の生きる道は、そこにはない…」

プロポーズを断った。



1854年、ロシアの南下政策に対して、トルコ・イギリス・フランスが戦争を起こした（クリミア戦争）。

トルコにあるイギリス軍の病院では、医師も看護師も、薬も包帯も足りない。

たくさんの兵士が苦しんでいることを新聞で知ったフローレンス。



ちょうどそのとき、陸軍大臣であるシドニー・ハーバートから 手紙が届く。

陸軍大臣の手紙

「戦地へ行って、看護のすべてを指導してください。あなたは軍の医師たちの協力と援助が受けられ、必要なものは何でも政府に要求できます。」
と書かれていた。

フローレンスは喜んで戦地へ向かうことに。



戦地では、ケガをした兵士たちの手当の手伝いをはじめ、病室の掃除に洗濯、食事の世話。

おまけに嵐のせいで、イギリス軍からの物資が届かなくなった。

ベッドが足りなくて、床に寝ている兵士のために、布をぬってその中にわらを入れて、マットも作った。



ナイチンゲールは兵士の死亡原因や病院の環境を統計学の手法を用いて分析。

わずか3か月で兵士の死亡率を42%から5%に激減させた。

イギリスにおける統計学の基礎を築いた。



毎日寝る間もないくらい忙しい中で、
フローレンスが絶対に欠かせないことが、
夜の見回りだった。

兵士たちが寝静まった後、
フローレンスは、
ランプを手に歩き、
ひとりひとりの様子を見た。



患者と目があえば、
フローレンスは、優しくほほえみかけます。

その姿は、
兵士にとってはまるで天使のように見え、
「クリミアの天使」
「ランプのレディ」
と呼ばれた。



大臣を通じて、
フローレンスたちの活躍が、
イギリスのビクトリア女王に
も伝わる。

1856年クリミア戦争は、
イギリス側の勝利で終了した。
フローレンスはイギリスの英
雄となっていた。

その後、
ナイチンゲール基金がもうけ
られ、様々な場所で講演の依
頼などの声がかかる。



ものには
すべて時が
あります。

★フローレンス・ナイチンゲールの言葉

ものごとを始めるチャンスは私は逃さないというフローレンスの気持ちがわかります。



あきらめと
いう言葉は
私の辞書に
はない。

★フローレンス・ナイチンゲール
の言葉

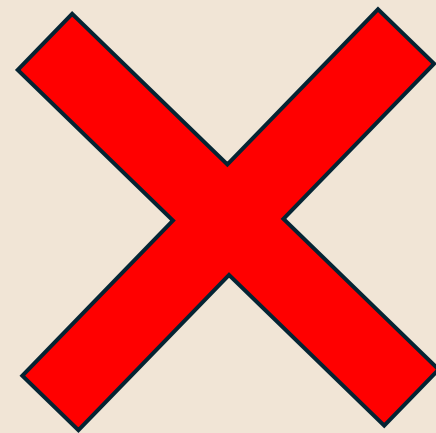
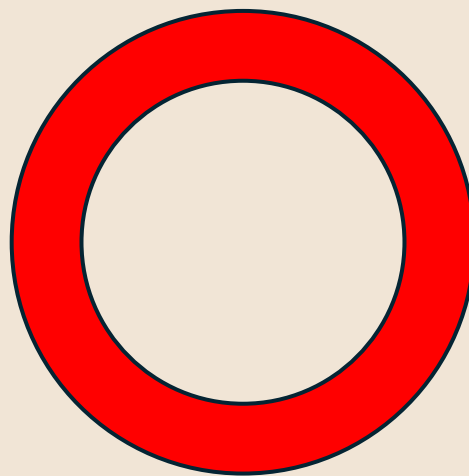
両親を説得し、ドイツへ看護の
勉強に出かける少前に書き記し
た一言。



Q イラストをヒントにして、次の文は正しい
でしょうか、○・×どっち??



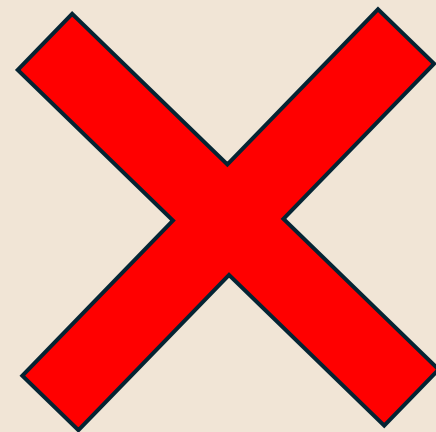
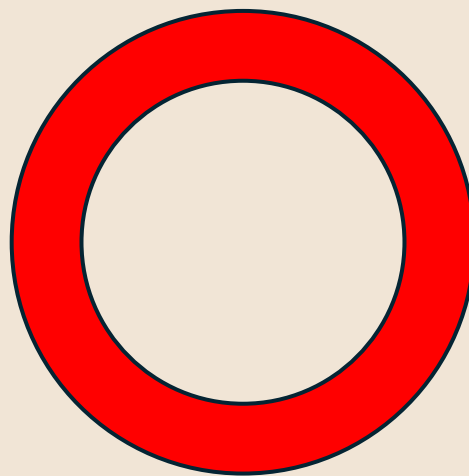
フローレンス・ナイチンゲールは
生まれた時から貧乏だったので
努力して看護師になった。



Q イラストをヒントにして、次の文は正しい
でしょうか、○・×どっち??



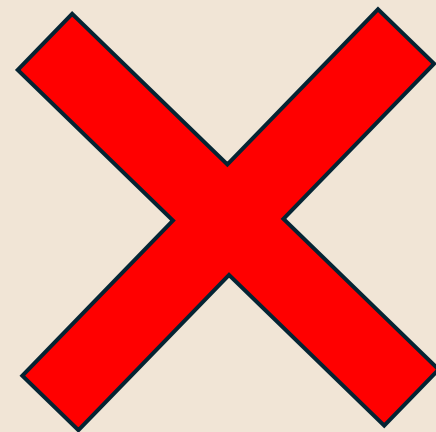
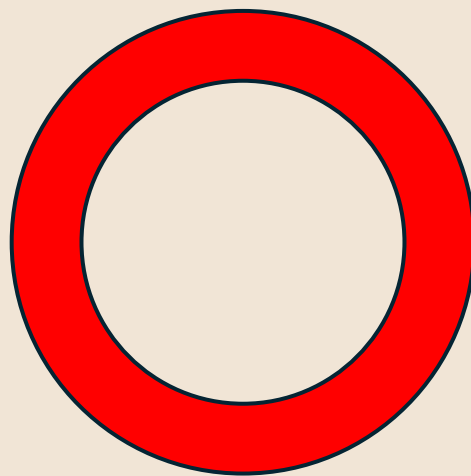
フローレンス・ナイチンゲールは
親の言う通りに
真面目に努力した。



Q イラストをヒントにして、次の文は正しい
でしょうか、○・×どっち??



フローレンス・ナイチンゲールは
貴族と結婚したから
勝ち組となった。



みんなはどんなシーンが
一番印象に残ってますか？



フローレンス・ナイチンゲール略歴

1820年 イギリスの上流階級に誕生

1837年 16歳の夜、神の声を聞く

1842年 イギリスで大飢饉

1844年 看護師になることを決意

1849年 結婚を断る

1854年 クリミア戦争で活躍

1860年 世界初、看護学校を設立

＊以降、医療・看護の現場を確かなものへ

1907年 イギリスで女性初、メリット勲位を受賞

1910年 永眠



アルフレッド・ノーベル

1833年：0歳 スウェーデンの貧しい家庭で生まれる

1842年：9歳 ノーベル爆薬との出会い

1853年：19歳 クリミア戦争でノーベル一家は大繁盛

1855年：22歳 ニトログリセリンとの出会い

1859年：26歳 クリミア戦争でロシアが敗北、父の会社も倒産

1863年：29歳 ノーベル式油状爆薬を発明⇒弟の事故

1866年：33歳 爆薬を改良し、ダイナマイトを発明

1893年：59歳 平和のために自分の財産を使おうと決意（遺言）

1896年12月10日：63歳、イタリア（サンレモ）の自宅で亡くなる

＊毎年12/10はノーベル賞の授賞式。受賞者の発表は10月中旬。

+ 5年後の1901年 第一回ノーベル賞スタート

